

読売新聞 きょう（9月18日）のイチ押し

1面 連載 始動・菅政権<上>

歴代最長政権を引き継ぎ、菅内閣が発足しました。内政、外交の課題を展望します。

- ★ 組閣翌日の17日、菅首相は河野行政・規制改革相、平井デジタル改革相、田村厚生労働相を次々と首相官邸に呼び、指示を飛ばしました。
- ★ 新型コロナウイルスの感染抑制と経済再生を、首相は「私に課せられた使命だ」と言い切りました。
- ★ 首相の党総裁任期は来年9月まで、衆院議員は同10月に任期が切れます。解散カードを切るタイミングを模索しながらの1年となります。

社会面 息子の遺作「頑張ったな」

放火殺人事件で社員ら36人が犠牲になった京都アニメーションが、事件後に初めて製作した映画「劇場版ヴァイオレット・エヴァーガーデン」が18日から全国で公開されます。犠牲者の1人で、「小物設定」を担当した高橋博行さん（当時48歳）の父親が取材に応じ、「生きている時に褒めてやりたかった」と涙をにじませました。

- ★ 博行さんが仕事にするほどアニメが好きとは知らず、専門学校に進学する際も、20歳で京アニに入社した際も相談はなかったそうです。
- ★ 博行さんが関わった映画を見て、「こんなに社会に訴えるもんなんや」と心を動かされましたが、博行さんに感想を伝えることはありませんでした。

他紙と比べて

東京五輪・パラリンピックに向けて、新型コロナウイルス感染症対策の具体的な検討が始まりました。参考になるのが、欧米でこのほど開催された全米オープンテニスや、全英女子ゴルフなどの国際大会です。どんな措置がとられ、どんな課題が見えてきたのでしょうか。解説のページで、結城和香子編集委員が、詳しく検証しています。